



2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

上場会社名 株式会社 SUMCO

上場取引所 東

コード番号 3436 URL <https://www.sumcosi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼CEO (氏名) 橋本 眞幸

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 澁谷 博史

TEL 03-5444-3915

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

2019年9月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	156,487	1.6	33,543	18.6	32,719	18.4	22,979	18.4
2018年12月期第2四半期	159,023	28.3	41,192	137.8	40,092	191.9	28,151	192.2

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 23,343百万円 (14.8%) 2018年12月期第2四半期 27,393百万円 (84.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	78.35	
2018年12月期第2四半期	95.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	581,941	332,913	51.0
2018年12月期	588,250	325,545	48.4

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 296,846百万円 2018年12月期 284,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		30.00		32.00	62.00
2019年12月期		25.00			
2019年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 現時点において、2019年12月期期末の1株当たり配当金については未定であります。

3. 2019年12月期 第3四半期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	228,400	5.8	41,500	35.4	40,200	35.9	27,900	34.6	95.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、翌四半期累計期間の業績予想を開示する方針としております。詳細は添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料7ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	293,285,539 株	2018年12月期	293,285,539 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	7,615 株	2018年12月期	7,575 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	293,277,947 株	2018年12月期2Q	293,278,122 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(配当についての特記事項)

現時点において、2019年12月期期末の1株当たり配当金については未定であります。当該予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2019年8月6日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間における300mmシリコンウェーハは、スマホの販売台数停滞やデータセンターの投資抑制等による半導体需要の減少に伴い、数量調整が始まりました。また、200mm以下の小口径ウェーハについても、一部の車載向けでは堅調なものの、産業・民生向けを含め全般的に軟化しました。

このような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、価格適正化による損益の改善にも努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高156,487百万円、営業利益33,543百万円、経常利益32,719百万円となりました。また、特別利益として退職給付制度改定益917百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は22,979百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度第3四半期連結会計期間における世界の半導体用シリコンウェーハ市場は、300mmの先端ロジック向けは回復傾向が見られるものの、メモリー向けは引き続き顧客の在庫調整が継続すると想定しております。また、200mmは産業・民生向けの需要軟化により、調整局面が継続すると予想しております。更に、世界経済成長の鈍化に加え、米中貿易摩擦等によるウェーハ需要への影響が懸念されます。

このような市場環境のもと、当社グループでは、引き続き最先端技術開発の推進による製品の差別化を図ってまいります。また、中期的には今後も需要増が予想されることから、価格適正化を前提とした段階的な設備増強により顧客要求に応じてまいります。

なお、当社グループが属する半導体業界は事業環境が短期間に大きく変化するという特徴があり、通期の合理的な予想を行うことが困難であることから、翌四半期累計期間の連結業績予想を開示する方針としております。

以上にに基づき、2019年12月期第3四半期(累計)の連結業績予想について、下記の通り開示いたします。

2019年12月期 第3四半期 連結業績予想 (2019年1月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	228,400	41,500	40,200	27,900	95.13
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前年同期実績 (2018年12月期第3四半期 連結累計期間)	242,456	64,252	62,702	42,663	145.47

(注1) 業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(注2) 2019年12月期第3四半期(7月～9月)の為替前提は、1米ドル=108円としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,900	53,452
受取手形及び売掛金	64,979	60,248
有価証券	21,000	18,300
商品及び製品	15,562	17,445
仕掛品	18,812	18,538
原材料及び貯蔵品	153,145	151,924
その他	8,483	7,814
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	339,872	327,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	72,316	71,546
機械装置及び運搬具(純額)	63,335	75,649
土地	20,314	20,294
建設仮勘定	22,597	19,885
その他(純額)	1,073	1,624
有形固定資産合計	179,636	189,001
無形固定資産		
のれん	5,187	4,374
その他	6,342	6,851
無形固定資産合計	11,529	11,226
投資その他の資産		
投資有価証券	102	102
長期前渡金	38,153	36,954
繰延税金資産	15,130	12,860
その他	4,109	4,366
貸倒引当金	△284	△280
投資その他の資産合計	57,212	54,002
固定資産合計	248,378	254,229
資産合計	588,250	581,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,932	24,297
短期借入金	33,107	26,164
リース債務	1,022	853
未払法人税等	6,493	4,586
引当金	2,043	1,211
その他	43,117	36,963
流動負債合計	113,716	94,075
固定負債		
長期借入金	118,598	125,558
リース債務	643	463
退職給付に係る負債	24,939	24,509
その他	4,807	4,421
固定負債合計	148,988	154,952
負債合計	262,704	249,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	138,718	138,718
資本剰余金	30,763	30,763
利益剰余金	117,812	131,428
自己株式	△12	△12
株主資本合計	287,282	300,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	2,885	2,885
為替換算調整勘定	△1,227	△3,452
退職給付に係る調整累計額	△3,944	△3,484
その他の包括利益累計額合計	△2,285	△4,051
非支配株主持分	40,548	36,066
純資産合計	325,545	332,913
負債純資産合計	588,250	581,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	159,023	156,487
売上原価	103,440	108,944
売上総利益	55,583	47,543
販売費及び一般管理費	14,390	13,999
営業利益	41,192	33,543
営業外収益		
受取利息	241	381
受取配当金	40	32
その他	163	149
営業外収益合計	445	562
営業外費用		
支払利息	787	543
シンジケートローン手数料	—	360
その他	759	483
営業外費用合計	1,546	1,386
経常利益	40,092	32,719
特別利益		
退職給付制度改定益	—	917
特別利益合計	—	917
税金等調整前四半期純利益	40,092	33,637
法人税等	6,133	7,036
四半期純利益	33,958	26,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,806	3,621
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,151	22,979

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	33,958	26,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
繰延ヘッジ損益	△2	0
為替換算調整勘定	△4,393	△3,740
退職給付に係る調整額	△2,169	482
その他の包括利益合計	△6,565	△3,257
四半期包括利益	27,393	23,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,543	21,213
非支配株主に係る四半期包括利益	3,849	2,129

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 米国会計基準を採用している在外子会社において、「顧客との契約から生じる収益」(ASC 第 606 号)を第 1 四半期連結会計期間より適用しております。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

当該会計基準の適用については、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用し、第 1 四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、第 1 四半期連結会計期間の利益剰余金の期首残高は 27 百万円増加しております。なお、当第 2 四半期連結累計期間に与える損益影響は軽微であります。

2. IFRS を採用している在外子会社において、「リース」(IFRS 第 16 号)を第 1 四半期連結会計期間より適用しております。

これにより、原則としてすべてのリースについて、原資産を使用する権利を表す使用権資産とリース料を支払う義務を表すリース負債を認識しております。使用権資産とリース負債を認識した後は、使用権資産の減価償却費及びリース負債に係る金利費用が計上されます。

なお、四半期連結貸借対照表において、使用権資産は有形固定資産のその他に、リース負債はリース債務に含めて表示しております。

当該会計基準の適用については、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用し、第 1 四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、第 1 四半期連結会計期間の利益剰余金の期首残高は 6 百万円減少しております。なお、当第 2 四半期連結累計期間に与える損益影響は軽微であります。

以上